

課題別評価表(3)

取組課題 英語科教育	担当名・指導部名／担当者名 英語科教育担当／三好 悠太	評価方法 教職員アンケートを中心とする 教職員による自己評価 (項目により対象の幅は異なる)
取組の柱 1. 指導方法や授業内容の改善・向上 2. 日常的に英語や外国の文化にふれることができる環境づくり 3. 地域や保護者、市内小中学校に対しての積極的な情報発信	実態把握 1. 今年度はHRT、NET、VETの3または4人体制で英語科授業を行っている。その中でそれぞれの役割を明確にした上で指導を行いたい。また小中のスムーズな接続のためにも意見交流の場を設定していく。 2. 国際理解委員会ではお昼の放送の時間に、明るく楽しく放送を行うことが出来ている。またふれあいホールの英語コーナーを充実させ、子どもたちがより英語に接することができる環境づくりを進めたい。 3. より多くの方に南が丘小学校の英語科を知ってもらうために、引き続き参観授業、公開授業を行っていく。今後は他の小中学校との情報交換を通して、より効果的な指導を目指した実践を行う。	達成度の判断基準 教職員の評価の平均 A : 3.5以上 4.0以下 B : 3.0以上 3.5未満 C : 2.5以上 3.0未満 D : 2.5未満

評価項目 (具体的な取組)	評価規準	達成度			
		中間	中間	年度末	年度末
1. 中学校とともに実践研究を行い、授業実践や研修会を通して、指導方法や授業内容の改善・向上を図る。	小中合同研修会や授業公開、毎週の授業の打ち合わせなどを通して、指導方法や授業内容について話し合うことができた。また各学期末に、HRT、NET、VETでの意見交流会を持つことができた(年間3回)(教職員アンケートからの評価)	3.7 A	3.5 A	3.7 A	
2. 絵や写真・音楽・文字カード等を用いて学習環境の充実を図る。	国際理解委員会の活動を中心に、学習したことや、外国の紹介などをポスターを制作し、ふれあいホールに掲示したり、お昼の放送の時間等を利用したりして、日頃から英語にふれる機会をつくることができた。(教職員アンケートからの評価)	3.7 A	3.5 A	3.7 A	
3. 地域や保護者、市内の小中学校に対して積極的に情報発信を行う。	ホームページや学校掲示板等の手段を使い、英語科授業の様子を発信したり、公開授業や参観授業を通して積極的に情報発信を行うことができた(参観授業年間3回以上、市内小中学校への公開授業年間1回以上実施)(教職員アンケートからの評価)	3.5 A	3.4 B	3.7 A	

達成度については、A:十分に達成できた B:おおむね達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

中間評価		年度末評価		昨年度からの (来年度への)申し送り
9月末の達成状況	総合評価	12月末の達成状況	総合評価	
1 一斉推進部会では小中でお互いの学習内容について共通認識を図り、ALT・NETの交換授業についての予定をたてたり、お互いの授業公開の予定をたてたりすることができた。小中合同研修会では、小学校英語の教科化に向けた授業の在り方を学んだ。 2 授業では子どもが意欲的に参加できるよう様々な絵カードやゲームを用いて、楽しみながら学ぶことを心がけた。給食の時間には、英語での放送を行い、日頃から英語にふれる機会を作った。 3 学校ホームページで英語科の授業の様子を発信し、6月の公開デーでは4年生の英語科授業の様子を保護者に発信することができた。	A	1		1. 高学年の授業を公開し、中学校の授業とどのようにつなげるのかを研究する。  2. HRT、NET、VETの役割を見直し、HRTがより積極的に前に出る指導の方法を研究する。
		2		
		3		

総合評価については、A:達成度の過半数がA C:達成度の過半数がCまたはD B:AとCの間